

目次

序文 関 英昭 6

第1章 共済・保険についての論考

〈日本共済協会の歴史〉

- ・意義ある船出に寄せて 坂井幸二郎 14
- ・相互啓発のアンチテーゼを 森松邦人 18
- ・日本共済協会結成十周年を迎えて 有馬良典 20
- ・「600号」所感 坂井幸二郎 22
- ・一般社団法人日本共済協会への法人移行にあたって 吉田 均 26

〈自然災害と共済〉

- ・北海道地震が浮上させた協同の課題 本間照光 28
- ・組合員の負託と自然災害への挑戦 森松邦人 30
- ・人の和の力と共済 今村良一 32
- ・原点への回帰を 押尾直志 34
- ・偶然と必然が交差する自然災害 森松邦人 36
- ・東日本大震災から一年 濱田康行 38
- ・わが国の地震保険システムを考える 米山高生 40
- ・共済と法規制（保険業法 保険法 消費者保護） 本間照光 42
- ・保険審議会答申の道と共済の道 42

・新保険業法の成立

- ・保険業法改正と共済団体の課題 西嶋梅治 44
- ・保険業法の改正と共済事業への影響 西嶋梅治 46
- ・初めて守勢に立つ共済事業 押尾直志 48
- ・日米保険協議と自動車保険の規制緩和 森松邦人 50
- ・「オレンジ共済」事件と共済事業の対応 前川 寛 52
- ・「共済基本法」促進は両刃の剣 押尾直志 54
- ・規制緩和の時代の共済 吉田嘉忠 56
- ・わが国保険制度のゆがみ 柳田勘次 58
- ・過去のしがらみからの脱却を 押尾直志 60
- ・ある無認可共済からみえるもの 西嶋梅治 62
- ・「無認可共済事業」について 藤井正樹 64
- ・共済団体の大同団結を 押尾直志 66
- ・新たな段階を迎えた共済運動 押尾直志 68
- ・保険法の成立を振り返って 後藤孝櫻 70
- ・「北極星」は何か、どこにあるのか 高橋 巖 72
- ・「改正保険業法」の改正 中川雄一郎 74
- ・共済約款は今のままでよいのか 76
- ・「契約書」としての約款のあり方を考える 78
- ・消費者が保険・共済に期待しているものは 鳴寺 基 78
- ・消費者の苦情が減っていない実態を踏まえて 丹野美絵子 80

・募集ルールの改定	江澤雅彦	82
・自賠償保険と被害者保護の行方	福田弥夫	85
〈環境変化と共済についての論考〉		
・共済事業に新風を	三上義夫	88
・共済理論構築の手掛かりを求めて	根立昭治	90
・非営利・協同の共済事業	太田原高昭	92
・地球環境問題へのアプローチ ↳ 森林・林業および共済事業からの考察	岩川尚美	94
・日本版ビッグバンと共済事業のあり方論に思う	相馬健次	96
・共済らしい共済事業への挑戦	前川 寛	98
・常に、社会的価値への問いかけを	森松邦人	100
・大競争時代のなかの共済事業	有馬良典	102
・JA共済連のスタートと課題	西嶋梅治	104
・保険市場の変貌につれて忘れ去られそうなこと	前川 寛	106
・支え合う心のコミュニティ	森松邦人	108
・共済にとつて「団体」とは何だろうか	金子雄次	110
・共済運動のパラダイム変換	富沢賢治	112
・世界化と地域化の中の共済事業	森松邦人	114
・協同組合・共済事業における「社会貢献」論の再論を	押尾直志	116
・保険論からみる共済研究への一視点	岡田 太	118
・21世紀の根本問題と共済運動	富沢賢治	120
・可視と不可視の間で ↳ 改めて共済事業とセーフティネットを考える	高橋 巖	122
・共済運動の原動力はなにか	富沢賢治	124
・「年史」を今日に生かそう	河野直践	126
・共済事業におけるつながりをどう築くべきか	岡田 太	128
・「共済らしさ」とは何か	恩蔵三穂	130
・金融危機と共済	富沢賢治	132
・共済の差別化軸としての社会的責任	恩蔵三穂	134
・国際協同組合年を共済組織発展の契機に	富沢賢治	136
・「下取り体験」あれこれ	河野直践	138
・保険と共済の境界を探る ↳ 大学生協共済の事例から	江澤雅彦	140
・賀川豊彦「元祖・社会起業家」として	秋葉 武	142
・共済は「損」することに意味がある	岡田 太	144
・共済の本質・源流と現代的革新方向	白石正彦	146

第2章 協同組合・助け合いについての論考

・ 試験期に立つ協同組合	森松邦人	150	・ 協同組織・協同組合を守ろう	森 静朗	180
・ 21世紀への助走く協同組合への道	森 静朗	152	・ 「規模の経済」から「関係の経済」へ		
・ 井関孝雄と賀川豊彦く人間愛に燃えて	森 静朗	154	くパーソナルな時代における協同組合経済く	堀越芳昭	182
・ ドラマと教育	本間照光	156	・ I L O 「協同組合の促進」新勧告案の意義	堀越芳昭	184
・ 協同組合原則の改訂についての関心と議論を	押尾直志	158	・ 協同組合における「教育」の重要性の再認識	押尾直志	186
・ 協同組合原則改訂と教育問題	富沢賢治	160	・ 社会的資本の創造と協同組合	塚本一郎	188
・ I C A 一〇〇周年記念大会に期待するもの	関 英昭	162	・ 協同組合と独禁法	藤井正樹	190
・ 協同組合の課題	富沢賢治	164	・ 農協・協同組合の独禁法適用除外の見直し動向と	堀越芳昭	192
・ 「市民活動促進法」は「N P O 法」か	関 英昭	166	適用除外の根拠	塚本一郎	194
・ 協同組合原則と協同組合法の関係			・ 社会的企業としての協同組合		
く世界の動向を踏まえて日本協同組合法制の	堀越芳昭	168	・ 人間にとつての「協同」の必然性とその条件	堀越芳昭	196
全面的見直しをく			・ 「自助自律」か「自立協同」か	堀越芳昭	198
・ 独禁法適用除外制度の見直しと協同組合	堀越芳昭	170	・ 協同組合におけるC S R と人材育成	塚本一郎	200
く協同組合原則の重要性く			・ 書簡　く新たな「相互扶助」の確立のためにく	高橋 巖	202
・ 協同組合の独禁法適用除外制度の見直し	堀越芳昭	172	・ 「利己主義」と「利他主義」の間		
くその沿革と最新動向からの提案く	堀越芳昭	174	くそれを超える（相互主義）	堀越芳昭	204
・ 破壊される共同性と協同性にいかに取り組むか	高橋五郎	176	・ 「貧困」の再発見と協同組合	塚本一郎	206
・ 無門関く協同組合とはく	森 静朗	178	・ 協同と地域のモノサシで暮らしを創る	根岸久子	208
・ 激変の時代を乗りきるために	富沢賢治	182			

・地域に根ざす	河野直践	210
・住民自治で創る安心して暮らせる地域システム	根岸久子	212
・「レイドロー報告」30年 その基底にあるもの	堀越芳昭	214
・2012年「国際協同組合年」を考える	吉田 均	216
・農山村の活性化に必要なのは地域視点の産業政策	根岸久子	218
↳現場の実践を活かす活性化策を	富沢賢治	220
・共済団体の結集力	栗本 昭	222
・国際協同組合年を迎えて	石田成則	224
・地域再生元年	大高研道	226
・「協同組合」の社会的認知度	北川太一	228
・協同組合が真に「協同」の受け皿になるために	多木誠一郎	230
↳ポスト国際協同組合年に向けて	杉本貴志	232
・「三位一体の原則」を再考してみよう	北川太一	234
・「国際協同組合年」から「協同組合の10年」へ	土屋 博	234
↳残された課題は何か		
・2012国際協同組合年から2020年に向けて		
↳「協同組合の10年に向けた計画案		
（ブループリント）」の実践へ		
・誤解から理解へ		
↳求められる「食農連携ビジョン」	北川太一	237

第3章 時事問題等についての論考

・協同組合と中小企業	関 英昭	240
・コモンズ再考	生源寺真一	243
・多様性の中にある協同組合らしさ	大高研道	246
〈介護・高齢者福祉〉		
・福祉の担い手としての公私論について	前川 寛	250
・地域福祉の「参加」を考える	根立昭治	252
・年金法改正に思う	三上義夫	254
・公的介護保険創設について	前川 寛	256
〈貧困・格差・グローバル化・市場原理主義について〉		
・グローバル化と民主主義	関 英昭	258
・「いのちの叫び」へのこだわり	河野直践	260
・日本とイギリス、どう違う？	中川雄一郎	262
・協同優先か効率優先か	富沢賢治	264
↳くらしの相談から考える		
生協組合員の「貧困」と生協	志波早苗	266
・格差社会に挑む協同組合	柳沢敏勝	268
・異次元の政治と市民の眼	中川雄一郎	271
〈TPP問題〉		
・TPP交渉参加の既成事実化を止める	鈴木宣弘	274

・ TPP 議論を検証する	吉田正己	276
・ TPP と法律問題	関 英昭	278
・ TPP 交渉と日米の価値観の相違	石田成則	280
・ 「TPP と日本農業」を考える	今尾和實	283
〈原発事故・再生可能エネルギーと協同組合〉		
・ もし日本の電気事業者が協同組合だったら	河野直践	286
・ 政治文化とシチズンシップ	中川雄一郎	288
・ 原発事故対策の総括と真の放射能汚染対策の実現を	小山良太	290
・ 協同組合こそ再生可能エネルギーの担い手に	石田信隆	292
〈その他の時事問題〉		
・ “足下” がしっかりしている平成元気づけるし	松田佑治	296
・ アジアの通貨不安	森 静朗	298
・ 共同体通貨への誘い	関 英昭	300
・ 敵対的 TOB	関 英昭	302
・ 21世紀は司法参加の時代	前川 寛	304
・ リスクは意識しなければリスクとはならない		

・ 「人間の顔をした経済社会」の担い手	森松邦人	306
・ 「外」からのコントロール	関 英昭	308
・ 現代の若者とチームワークとコミュニケーション	岡田 太	310
・ 大学における学びとは	岡田 太	312
・ R I S の取り組みを振り返って	伊藤澄一	314
・ 不安社会の「自助」を考える	吉川萬里子	317
・ 消費者行政について考える	島田和明	320

〈参考資料〉

協同組合のアイデンティティに関する I C A 声明	322
協同組合の 10 年に向けた計画 (ブループリント)	323
1992 年以降の共済・保険・協同組合関連年表	324
(注) 各論文の末尾の () 内の数字は「共済と保険」誌に掲載された (年・月号) であり、掲載されたとおりの肩書とした。	